

大規模有機栽培による酒米の高品質・安定生産を実現 ～福本 卓雄氏～

経営体の概要

事業実施前：平成24年
基幹作物：水稻（主食用米、酒米）
経営面積：4.0ha

事業実施後：令和5年
基幹作物：水稻（主食用米、酒米）
経営面積：10.5ha

土地改良事業による生産基盤（農地、農業水利施設等）の変化

【事業実施前】

- 狭小不整形かつ排水条件が悪くほ場も分散しており、非効率な営農条件。
- 農業機械が入れないような農地を中心に耕作放棄地が増加。



【現在】

- 国営南周防土地改良事業(平成23年～)により、整形・汎用化された水田が整備されたことで、作業効率が向上し、営農条件が大幅に改善。
- 換地を通じて、分散錯圃が解消し、集約ができたことで、経営規模の拡大が可能となった。



営農改善、経営転換等のポイント

①事業を契機とした経営規模の拡大と高品質な酒米の安定生産

定年退職を機に専業農家となり、工事が始まる以前から「完全無農薬での水稻の有機栽培と周辺の耕作放棄地を再生」を目標に掲げ、耕作放棄地を解消しながら、有機米の栽培技術を確認し、有機JAS認証を取得するなど、酒米を中心として大規模に有機栽培米を生産している。

有機栽培は、慣行栽培に比べて労働時間が数倍になるため、経営面積の拡大が難しく、生産が不安定になることもあったが、事業によりほ場が大区画化し、35箇所分散していたほ場が7箇所に集約できたことで、作業効率が飛躍的に向上し、経営面積の拡大とともに、丁寧な栽培管理が可能となり、安定的に質の高い酒米を酒造会社に供給できるようになり、国内外で高く評価されている山口県の日本酒生産にも貢献している。

②栽培技術の確立・向上

全国各地の有機栽培農家との交流や勉強会への参加、倒伏を防ぐ施肥設計、高温障害対策の励行により、慣行栽培でも難しい酒米の有機栽培技術を確認し、有機JAS認証及びエコ山口農産物の認証を取得している。

また、有機栽培により生産した酒米を使用し、地元酒造会社で製造された日本酒が国内有数のコンペティションで1位を獲得するなど、品質の高い酒米の生産を実現している。



有機栽培ほ場



有機栽培により、団粒構造が発達した良質な土壌



稈長が長い酒米

事業概要

事業種：国営緊急農地再編整備事業
関係市町：山口県光市、柳井市、熊毛郡田布施町
受益面積：577ha
事業期間：平成23年～令和9年
事業目的：区画整理、排水改良 等
主要工事：区画整理 390ha、農業用排水 36ha、暗渠排水 182ha

位置図



<問い合わせ先>

中国四国農政局
農村振興部農地整備課
営農指導係
電話：086-224-4511
(内線：2562)

(令和5年度調査時点)